



みたま祭 (7月13日～16日)

祭事のご案内

靖國神社では年間を通じて様々な祭事が執り行われますが、その中で最も重要な祭事は春秋に執り行われる「例大祭」です。また、お盆の時期にあたる7月13日から16日にかけて行われる「みたま祭」は、東京の夏の風物詩として広く知られており、境内には3万灯を超える奉納提灯や揮毫ぼんぼりが掲げられ、多くの参拝者で賑わいます。

*祭事暦

1月 1日 新年祭	4月29日 昭和祭	10月17日 秋季例大祭
2月11日 建國記念祭	6月29日 御創立記念日祭	～20日
2月17日 祈年祭	6月30日 大祓式	11月 3日 明治祭
2月23日 天皇御誕辰奉祝祭	7月13日 みたま祭	11月23日 新嘗祭
4月21日 春季例大祭	～16日	12月25日 煤拂祭
		12月31日 除夜祭、大祓式

毎月 1日・11日・21日 月次祭 / 毎日 朝御饗祭、夕御饗祭、永代神楽祭

正式参拝・祈願参拝のご案内

心静かに神霊を偲ぶ本殿内での参拝(正式参拝)や祈願参拝をご希望の方は、参集殿受付(境内区11)まで、お申し出ください。

*受付時間

8:00～16:30 (3月～10月) 8:00～16:00 (11月～2月)

※正月、春秋の例大祭、みたま祭の期間中は時間が異なります。



永代神楽祭のご案内

「永代神楽祭」は、神霊のご命日など縁ある日に神楽を奉奏し、永代に亘って神霊をお慰めする祭典です。永代神楽祭では、ご遺族が本殿に参列する中、神霊の御名前が奏上され、仕女が神楽舞を奉仕します。(祭資料 一件 10万円以上)

交通のご案内

- J R ●中央・総武線各駅停車 ……「市ヶ谷駅」「飯田橋駅」から各徒歩10分
 - 地下鉄 ●東西線・半蔵門線・都営新宿線 ……「九段下駅」から徒歩5分
 - 東西線・有楽町線・都営大江戸線 ……「飯田橋駅」から徒歩10分
 - 南北線・有楽町線・都営新宿線 ……「市ヶ谷駅」から徒歩10分
- ※お車でお越しの方 …… 参拝者駐車場の入口は、靖国通り沿いにあります。

靖國神社 〒102-8246 東京都千代田区九段北3-1-1 TEL.03-3261-8326 FAX.03-3261-0081



未来へつなぐ 靖國の心
靖國神社 御創立150年

靖國神社

参拝のしおり

令和元年
御創立百五十年



明治17年4月の社頭風景

由緒

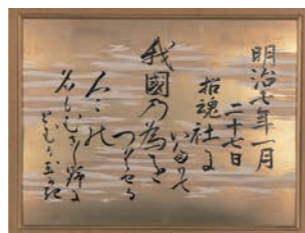
靖國神社の起源は、明治二年(一八六九)六月二十九日に建てられた「招魂社」に遡ります。当時の日本は、近代的統一国家として大きく生まれ変わろうとする歴史的大変革(明治維新)の過程にあり、そうした大変革は一方において国内に避けることのできない不幸な戦い(戊辰の役)を生み、近代国家建設のために尽力した多くの同志の尊い命が失われる結果となりました。そこで明治天皇は、国家のために一命を捧げられたこれら人々の霊を慰め、その事績を後世に伝えようと、東京九段の

この地に招魂社を創建されたのです。招魂社はその後、明治十二年(一八七九)六月四日に「靖國神社」と改称されて、現在に至っています。

令和元年(二〇一九)、御創立百五十年を迎えました。

創建の理念

靖國神社創建の目的は、明治七年(一八七四)二月二十七日、明治天皇が初めて招魂社に御親拝の折、お詠みになられた「我國の 為をつくせる 人々の名もむさし野に」とむる玉かき」の御製からも知られるように、世の平安を願う国家のために一命を捧げられた人々の



霊を慰め、その事績を後世に伝えることにあります。明治天皇が命名された「靖國」という社号は、「国を靖(安)んずる」(典拠は『春秋左氏伝』卷第六僖公中)という意味で、靖國神社には「祖国を平安にする」、「平和な国家を建設する」という願いが込められています。

御祭神

靖國神社には、幕末の嘉永六年(一八五三)以降、明治維新、戊辰の役、西南の役、日清戦争、日露戦争、満洲事変、支那事変、大東亜戦争(第二次世界大戦)などの対外事変や戦争に際して、ひたすら「国安かれ」の一念のもと、国を守るために尊い生命を捧げられた二百四十六万六千余柱の方々の神霊が、身分や勲功、男女の別なく、すべて祖国に殉じられた尊い神霊(靖國の大神)として齊しくお祀りされています。



吉田松陰・高杉晋作・橋本左内といった歴史的に著名な幕末の志士達をはじめ、戦場で救護のために活躍した従軍看護婦や女学生、学徒動員中に軍需工場で亡くなられた学徒などの軍属、文官、民間の方々も数多く含まれています。また、その当時、日本人として戦い亡くなられた台湾及び朝鮮半島出身者やシベリア抑留中に死亡した軍人、軍属、大東亜戦争終結時にいわゆる戦争犯罪人として処刑された方々も同様に祀られています。このように多種多様な方々の神霊が、祖国に殉じられた尊い神霊として一律平等に祀られているのは、靖國神社創建の目的が、「国家のために一命を捧げられたこれら人々の霊を慰め、その事績を後世に伝える」ことにあるからです。

今月の遺書

靖國神社では、多くの方々に、祖国のために斃られた英霊のみどころに触れていただきたいと、英霊の遺書や書簡を毎月、社頭に掲示しています。

社頭にこれまで掲示した遺書や書簡は、『英霊の言乃葉』という書籍に纏めて随時刊行、頒布しています。



その中には軍人ばかりでなく、明治維新のさきがけとなって斃れた坂本龍馬・

